

# アジアからの米軍総撤収を！岩国基地強化を許さない国際集会

## 集会決議

私たちは岩国基地大強化に反対し、アジアからの米軍総撤収に向けて、沖縄および日本各地からここ岩国に結集した。また、この国際集会には、アメリカ・韓国・フィリピンの闘う仲間がともに参加した。昨年12月、安倍政権が登場し、日米軍事同盟を基軸とした東アジアにおける戦争態勢と日本の戦争国家化がすさまじい勢いで強化されようとしている。私たちはこれを絶対に許さない。

岩国においては、2006年3月の住民投票によって基地強化に反対する圧倒的な住民の意思が示されたにもかかわらず、オスプレイの運用拠点化、愛宕山米軍住宅建設、2014年の普天間基地の空中給油機移駐、2017年の厚木基地の米艦載機の移駐と最新鋭戦闘機F35の配備など、岩国基地は極東最大の海兵隊基地へと大強化されようとしている。私たちは、岩国住民の粘り強い闘いと結びつき、住民の闘いを全力で支援し、岩国の闘いに連帯するうねりを全国へとおし広げていくために奮闘する。そして、岩国基地大強化との闘いをアジア太平洋地域における共通の課題へとおしあげ、国際共同闘争をつくりだしていこう。

2014年を目標とした米軍再編計画は、沖縄・岩国・神奈川をはじめとした民衆の闘いによって破綻してきた。とりわけ、沖縄の辺野古新基地建設・高江ヘリパッド建設阻止闘争の位置は決定的である。安倍政権は、この事態を突破するために、来年1月の名護市長選挙を焦点に、辺野古新基地建設に向けた攻撃を一挙に強化してきている。そして、京丹後市経ヶ岬における米軍Xバンドレーダー基地建設や大阪・八尾空港へのオスプレイ運用拠点の誘致の動きなどが開始されてきた。米軍基地は沖縄にもどこにもいらない。米軍基地を撤去させないかぎり、米軍による事故やレイプ事件などの凶悪犯罪を根絶することはできない。沖縄・岩国・神奈川・京都など全国の反基地運動、オスプレイ配備や低空飛行訓練に反対する闘いをしっかりと結合させ、米軍再編・日米軍事一体化を打ち破ろう。とりわけ、来年1月の名護市長選挙の勝利をともにかちとろう。

この闘いは、安倍政権による戦争国家化と正面から対決する闘いである。安倍政権は、日本版NSC設置法案と特定秘密保護法案を現在の臨時国会で成立させ、いよいよ来年には集団的自衛権行使のための国家安全保障基本法を制定し、戦争国家化の総仕上げである憲法改悪へと向かおうとしている。集団的自衛権行使 - 憲法改悪阻止闘争と全国の反基地運動をしっかりと結合させ、安倍政権による戦争国家化と総対決していこう。

アメリカの「アジア太平洋重視戦略」への転換にともない、アジア太平洋地域では米軍基地と米軍のプレゼンスがますます強化されようとしている。米軍に国境はない。在日米軍の再編・日米軍事一体化もまたその重要な一部なのだ。私たち民衆の側もまた、釣魚諸島（尖閣諸島）問題など領土問題を利用した排外主義煽動と対決し、東アジアからの米軍総撤収に向けて、アジア太平洋地域における国境を越えた民衆の連帯と国際共同闘争を全力で推進していかなばならない。各国・地域の反基地闘争・反米軍闘争への支援と連帯を強化し、来年秋の韓国・クンサンでの平和大会に全国各地から結集していこう。

安倍政権による新自由主義政策のもとで、民衆の貧困と無権利がますます拡大し、そこに消費税増税と社会保障の改悪が襲いかかろうとしている。これらに反対する民衆の生存をかけた闘いと戦争国家化に反対する闘い、そして原発再稼働・原発輸出に反対する闘いをしっかりと結合させ、基地も原発もない人らしく生きられる社会をつくりだしていくためにともに闘おう。未来は与えられるものではなく、闘いとるものなのだ。今こそ国際主義の旗を高く掲げよう！

2013年11月30日 岩国国際集会参加者一同